◆ 第３期北海道自転車利活用推進計画　推進管理表

資料２－２

１　自転車関連施策

高まる安全性

［展開方向１］
安全に自転車を利用するための交通ルールと安全教育の徹底

交通安全教室の実施などにより、交通ルールやマナーの周知徹底を図り、安全に自転車を利用できる北海道の実現をめざす。

○ 道交法改正に伴う罰則及び交通ルールの周知徹底

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	包括連携企業と連携した自転車啓発事業 [環境生活部（地域安全課）]	道交法の改正により禁止行為とされた「ながらスマホ」「イヤホン使用」「傘差し運転」や、逆走・信号無視などの通行区分違反について、包括連携企業や関係機関と連携し、周知徹底と啓発に努める。	日本生命保険相互会社と連携する「自転車交通安全フェア」の実施	－
	包括連携企業と連携した自転車啓発事業 [環境生活部（地域安全課）]	「青切符制度」により反則金の対象となる違反について、包括連携企業や関係機関と連携し、広く周知を図ることで事故抑止につなげる。	・日本生命保険相互会社と連携する「自転車交通安全フェア」の実施 ・日本損害保険協会及びイオン北海道と連携した高校生対象の「サイクルサテライトキャンパス」の実施	－
	各種イベントによる普及啓発事業 [環境生活部（地域安全課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	自治体・教育機関・地域団体と連携し、SNSやホームページ、交通安全イベントを活用して、若年層から高齢者まで理解しやすい形で情報発信。	・自転車シュミレーターの活用による自転車の交通ルールの周知及びマナー向上（環境生活部） ・北海道庁１階道政広報コーナーでのパネル展において、「ながらスマホ」や逆走等の「通行区分違反」」を含む青切符制度による反則金の対象となる違反行為や交通ルール等の啓発活動を実施（総合政策部）	－ （環境生活部） 7,056 （総合政策部）
	啓発活動及び情報発信事業 [警察本部（交通企画課）]	毎月第１、第3金曜日の「自転車安全日」等において、街頭活動を通じた啓発を実施するとともに、ホームページやSNSを活用し、幅広い層に向けた情報発信に取り組む。	・自転車販売店や損害保険会社と連携し広報啓発活動を実施 ・SNS等を活用し自転車の安全利用啓発動画等を配信	－

○ 小中高生向けの交通安全教育の強化と推進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	サイクルサテライトキャンパス事業 [環境生活部（地域安全課）]	関係機関と連携し、高校生を対象に交通事故の実態、ヘルメットの着用及び保険の加入に関する出前講座を実施することで、若年層への理解促進と意識向上を図る。	日本損害保険協会及びイオン北海道と連携した高校生対象の「サイクルサテライトキャンパス」の実施	－
	学校安全教室 学校安全推進会議事業 交通安全教育の推進 [教育庁（生徒指導・学校安全課）]	小・中・高生の発達段階に応じた交通ルールの理解促進など、交通安全教育の推進を図るとともに、学校安全の充実に向けた関係機関との会議を実施する。	・学校安全教室や学校安全推進会議を開催し、警察等と連携した体験型交通安全教室や児童生徒自らが積極的に学ぶ交通安全教育を推進 ・「安全教育実践事例集」を作成し、交通安全教育の先進事例を普及 ・児童生徒、保護者、学校及び教育委員会向けに交通安全教育ポータルサイトを作成し、子どもたちの指導などへの活用を図り、交通安全教育を推進	－
	スケアード・ストレイト教育技法を用いた自転車教室事業 [警察本部（交通企画課）]	スタントマンが交通事故をリアルに再現するスケアード・ストレイト教育技法を用いた自転車教室を実施し、自転車の安全利用に対する意識向上を図る。	・関係機関・団体と連携し、中学校、高等学校を対象としたスケアードストレイト教育技法による交通安全教室を実施 ・自転車シミュレーターやコースを活用した参加体験型交通安全教室の実施	－
	包括連携企業と連携した自転車啓発事業 [環境生活部（地域安全課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	自転車シミュレーター等を活用し、危険予測能力やルール遵守の重要性を体験的に学べる機会を提供する。	日本生命保険相互会社と連携する「自転車交通安全フェア」の実施（環境生活部・総合政策部）	－ （環境生活部） 7,056 （総合政策部）

○ ヘルメットの着用促進と習慣化

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	啓発活動及び情報発信 [環境生活部（地域安全課）]	交通安全街頭啓発や各種イベントにおいて、ヘルメット着用の促進に向けた普及啓発活動を実施する。	各種啓発イベント会場においてヘルメット展示会を実施	－
	学校安全教室 学校安全推進会議事業 交通安全教育の推進 [教育庁（生徒指導・学校安全課）]	小・中・高生の発達段階に応じた自転車利用時のヘルメット着用の啓発を通じて、着用促進と習慣化を図るとともに、交通安全教育の推進に取り組む。	・ヘルメット着用等、自転車の安全利用に係る通知を発出 ・各公立学校の児童生徒のヘルメット着用促進の取組等に関する調査及び着用促進に向けた指導を実施 ・児童生徒、保護者、学校及び教育委員会向けに交通安全教育ポータルサイトを作成し、子どもたちへの指導などへの活用を図り、交通安全教育を推進	－
	啓発活動及び情報発信事業 [警察本部（交通企画課）]	毎月第1、第3金曜日の「自転車安全日」等において、ヘルメット着用の促進と習慣化を含めた街頭啓発活動を実施するとともに、ホームページやSNSを活用し、幅広い層に向けた情報発信に取り組む。	・自転車販売店や損害保険会社と連携し広報啓発活動を実施 ・SNS等を活用し自転車の安全利用啓発動画等を配信 ・スポーツ団体に協力を依頼し、選手等による安全利用啓発動画の作成・配信、サイネージ等による発信	－
	啓発活動及び情報発信事業 [環境生活部（地域安全課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	ヘルメットの着用効果について科学的データに基づき、SNSやホームページ、交通安全イベントを活用して、若年層から高齢者まで幅広い層に向けた情報発信を行い、理解促進を図る。	・ホームページへの掲載（環境生活部） ・北海道庁1階道政広報コーナーでのパネル展において、ヘルメットを設置し、ヘルメット着用の重要性を理解してもらうための啓発活動を実施（総合政策部）	－ （環境生活部） 7,056 （総合政策部）

深まる安心感

[展開方向２]
安心して自転車を利用できる通行空間等の整備

自転車の利活用を促進するため、安心できる走行環境や通行空間の整備を推進し、適切な維持管理を行うとともに、損害賠償保険等への理解促進と未加入者への加入促進を通じて、道民が安心して自転車を利用できる北海道の実現をめざす。

○ 市町村自転車ネットワーク計画策定の促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	自転車ネットワーク計画の推進 [建設部（道路課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	市町村自転車ネットワーク計画の策定状況等を把握し、未策定の市町村に対して、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」を活用し、計画策定によるメリットの周知及び策定の促進。	自転車ネットワーク計画調整会議を設置し、国、都道府県、市町村が連携して、相互調整や、自転車ネットワーク計画の策定の推進、取り組みへの支援の実施。	－ （建設部） 7,056 （総合政策部）
	自転車ネットワーク計画の推進 [建設部（道路課）]	市町村自転車ネットワーク計画の策定を推進し、広域的な観点から関係機関と連携の上、隣接市町村間におけるネットワークの連続性の確保・推進を図る。	自転車ネットワーク計画調整会議を設置し、国、都道府県、市町村が連携して、相互調整や、自転車ネットワーク計画の策定の推進、取り組みへの支援の実施。	－

○ 安全で安心な自転車道を含む通行空間の整備推進、適切な維持管理

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	自転車通行空間の整備事業 [建設部（道路課）]	市町村が策定する自転車ネットワーク計画に基づき、矢羽根型路面表示などの自転車通行空間の整備を推進。	・矢羽根型路面表示等の実施（旭川市） 札幌恵庭自転車道線 ・北広島工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工 ・恵庭工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工	－
	大規模自転車整備 [建設部（道路課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	自然公園、名勝、観光施設等を結ぶ大規模自転車道の整備を推進するとともに、地域の魅力発信や自転車利用の促進に取り組む。	札幌恵庭自転車道線 ・北広島工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工 ・恵庭工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工（建設部） ・北海道庁1階道政広報コーナーでのパネル展において、大規模自転車など地域の魅力を発信 ・SNSを活用した発信（総合政策部）	－ （建設部） 7,056 （総合政策部）
	自転車通行空間の整備事業 [建設部（維持管理防災課）]	整備した自転車通行空間の適切な維持管理。	利尻富士利尻自転車道線ほか2路線 ・舗装補修など	39,600
	自転車通行空間の整備事業 [建設部（道路課）]	「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」に基づき、道路形状や交通量、周辺環境に応じた設計手法を適用した自転車通行空間の整備を推進。	・矢羽根型路面表示等の実施（旭川市） 札幌恵庭自転車道線 ・北広島工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工 ・恵庭工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工	－
	大規模自転車整備 [建設部（道路課）]	国、市町村及び道が連携し、自転車通行空間の整備に向けた技術的な情報提供。	・市町村への策定状況・策定予定時期の把握 ・市町村への情報提供の実施	－

○ 損害賠償保険等への理解及び加入促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	啓発活動及び情報発信事業 [環境生活部（地域安全課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	北海道自転車条例に基づく加入努力義務の周知を強化するとともに、保険加入の重要性について広く周知を図る。	・各種啓発イベント会場において保険加入の重要性について広く周知（環境生活部） ・北海道庁1階道政広報コーナーにおいて自転車事故における損害賠償リスクを周知し、保険加入の重要性を理解してもらう啓発活動を実施 ・SNSを活用した発信（総合政策部）	― （環境生活部） 7,056 （総合政策部）
	啓発活動及び情報発信事業 [環境生活部（地域安全課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	高額化する損害賠償事例を踏まえ、保険加入の必要性や安心感を具体的に示す広報活動の展開。	・各種啓発イベント会場において保険加入の重要性について広く周知（環境生活部） ・北海道庁1階道政広報コーナーにおいて自転車事故における損害賠償リスクを周知し、保険加入の重要性を理解してもらう啓発活動を実施 ・SNSを活用した発信（総合政策部）	― （環境生活部） 7,056 （総合政策部）
	自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	自動車保険・火災保険の特約での付帯状況について、加入者が容易に確認できる方法を関係団体と連携して検討。	・北海道庁1階道政広報コーナーでのパネル展において、特約の概要や確認方法を周知するリーフレットを配架 ・SNSを活用した発信	7,056
	サイクルサテライトキャンパス事業 [環境生活部（地域安全課）] 学校安全教室 学校安全推進会議事業 [教育庁（生徒指導・学校安全課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	学校や地域団体と協力し、児童・生徒などの若年層や家庭への啓発活動の推進。	・日本損害保険協会及びイオン北海道と連携した高校生対象の「サイクルサテライトキャンパス」の実施（環境生活部） ・学校安全教室や学校安全推進会議を開催し、「北海道自転車条例」の周知とともに、自転車損害賠償保健等への加入について推進（教育庁） ・各イベントにおいて損害賠償保険加入の重要性を周知するポスターの掲示やリーフレットを配布 ・SNSを活用した発信（総合政策部）	― （環境生活部） ― （教育庁） 7,056 （総合政策部）

広がる自転車

［展開方向３］
健康・環境・観光・災害時に資する自転車利用の促進

あらゆる世代の健康づくりや環境負荷の低減、道内観光の活性化、さらには災害時の移動手段としても効果的な自転車の特性を活かし、安全・安心な利用の促進、SDGsに資する取組、シェアサイクルの普及、多様なサイクルツーリズム環境の整備を通じて、自転車の利活用が日常に根づく北海道の実現をめざす。

○ あらゆる世代の健康増進に資する安全で安心な自転車利用の促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	道民の健康づくり推進事業［保健福祉部（地域保健課）］	健康を維持するための運動量の確保や、運動習慣定着化のための手段としての自転車利用に関する情報提供。	健康づくりに関する各種月間の機会やSNS等を活用した、運動量の確保や運動習慣定着化等に関する普及啓発	4,991
	道民の健康づくり推進事業［保健福祉部（地域保健課）］	日常生活における身体活動量の増加や健康的な生活習慣の維持に寄与することについて、広報等の啓発を通じて道民に周知。	健康づくりに関する各種月間の機会やSNS等を活用した、運動量の確保や運動習慣定着化等に関する普及啓発	4,991
	道民の健康づくり推進事業［保健福祉部（地域保健課）］	環境・観光・教育等の関連分野の取組と連携しつつ、結果として道民の健康づくりにも資する安全・安心な自転車利用の促進を図る。	健康づくりに関する各種月間の機会やSNS等を活用した、運動量の確保や運動習慣定着化等に関する普及啓発	4,991
	道民の健康づくり推進事業［保健福祉部（地域保健課）］ 学校安全教室 学校安全推進会議事業 交通安全教育の推進［教育庁（生徒指導・学校安全課）］ 自転車活用等促進事業［総合政策部（地域政策課）］	年代に応じた自転車の安全教育・マナー啓発を通じて、安心して自転車を活用できる環境づくりを進め、その結果として日常的な身体活動機会の拡大につなげる。	・健康づくりに関する各種月間の機会やSNS等を活用した、運動量の確保や運動習慣定着化等に関する普及啓発（保健福祉部） ・学校安全教室や学校安全推進会議を開催し、警察等と連携した体験型交通安全教育や児童生徒自らが積極的に学ぶ交通安全教育を推進 ・「安全教育実践事例集」を作成し、交通安全教育の先進事例を普及 ・児童生徒、保護者、学校及び教育委員会向けに交通安全教育ポータルサイトを作成し、子どもたちの指導などへの活用を図り、交通安全教育を推進（教育庁） ・各イベントにおいて年代に応じた自転車の安全教育、マナー啓発に関するポスターの掲示やリーフレットを配布 ・SNSを活用した発信（総合政策部）	4,991 （保健福祉部） ― （教育庁） 7,056 （総合政策部）
	道民の健康づくり推進事業［保健福祉部（地域保健課）］	福祉分野と連携し、自転車の安全利用を通じた生活機能維持や社会参加の促進を図る。	健康づくりに関する各種月間の機会やSNS等を活用した、運動量の確保や運動習慣定着化等に関する普及啓発	4,991 （保健福祉部）

○ 環境負荷の低減とSDGs達成に貢献する自転車利用の促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	自転車通行空間の整備事業 [建設部（道路課）]	市町村が策定する自転車ネットワーク計画に基づき、矢羽根型路面表示などの自転車通行空間の整備を推進。【再掲】	・矢羽根型路面表示等の実施（旭川市） 札幌恵庭自転車道線 ・北広島工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工 ・恵庭工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工 【再掲】	―
	大規模自転車整備 [建設部（道路課）] 自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	自然公園、名勝、観光施設等を結ぶ大規模自転車道の整備を推進するとともに、地域の魅力発信や自転車利用の促進に取り組む。【再掲】	札幌恵庭自転車道線 ・北広島工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工 ・恵庭工区:橋梁上部工、路盤工・舗装工（建設部）【再掲】 ・北海道庁1階道政広報コーナーでのパネル展において、大規模自転車など地域の魅力を発信 ・SNSを活用した発信（総合政策部）【再掲】	― （建設部） 7,056 （総合政策部）
	ゼロカーボン北海道普及推進事業費 [経済部（ゼロカーボン戦略課）]	ゼロカーボン北海道の実現に向け、省エネや自転車・公共交通機関の利用など、出来ることからゼロカーボンの取組を実践していく「ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト」を広く呼びかけ、脱炭素型ライフスタイル・ビジネススタイルへの転換を促進。	道民・事業者のライフスタイル・ビジネススタイルの転換につながる取組を広く呼びかけ、できることから取組を実践してもらう「ゼロカーボン北海道チャレンジプロジェクト」を9分野で32の取組を例示して進めており、交通分野では省エネや自転車・公共交通機関の利用を呼びかけていることから、引き続きホームページや地域イベントなどで普及啓発を行う。	―

○ 多様なサイクルツーリズム環境の整備と促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	AT推進対策事業費（アドベンチャートラベル推進事業費、アジア圏におけるAT商品販売促進事業） [経済部（観光振興課）]	アドベンチャートラベル推進の一環として、海外旅行会社等を対象としたFAMツアーの開催や旅行博への出展等を通じて、サイクリングを含むアウトドアアクティビティやアドベンチャートラベルのツアーに対する認知度向上や誘客促進を図る。	・ATWS2026（カナダ）等の旅行博への出展 ・海外旅行会社等招聘（FAMツアー）及び商談会の実施 ・地域のAT受入体制整備に向けた支援 AT基礎セミナーの実施（全道6会場） AT専門家派遣	139,907
	AT推進対策事業費（ATガイド育成事業費、ATガイド能力向上事業費） アドベンチャートラベルガイド認定等制度環境整備事業費 [経済部（観光振興課）]	サイクリング分野を含む北海道アドベンチャートラベルガイド認定等制度の運営を通じて、地域におけるガイド人材の育成と受入体制の整備を図る。	・野外救急法研修の実施 ・スルーガイド研修の実施 ・インタープリテーション研修の実施 ・海外トップガイド研修の実施 ・ガイドを核としたAT受入体制整備の推進（地域間プラットフォーム構築） 商品造成に向けたワークショップの実施（全道6会場） ・北海道アドベンチャートラベルガイド認定等制度の運営	83,325
	自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	ナショナルサイクルルート「トカプチ400」など、道内各地のサイクルルートを活かした広域的なサイクルツーリズムの推進に向けて、関係機関との連携・協働を進める。	・北海道庁1階道政広報コーナーでのパネル展において道内各地のサイクルルートを紹介するパネルを掲示 ・開発局と連携したナショナルサイクルルートの魅力を発信するパネル展におけるPR ・SNSを活用した発信	7,056
	自転車活用等促進事業 [総合政策部（地域政策課）]	魅力的な情報発信や受入環境の整備を進め、国内外のサイクリストなどが安心して楽しめる環境を形成。	・北海道庁1階道政広報コーナーでのパネル展において道内各地の大規模自転車道やサイクルルートを紹介するパネルを掲示 ・開発局と連携したナショナルサイクルルートの魅力を発信するパネル展におけるPR ・SNSを活用した発信	7,056
	地域政策推進事業 [総合政策部（地域政策課）]	釧路総合振興局管内の鉄道路線は観光路線として高いポテンシャルを有することから、JRの利用促進及び地域活性化を目的として、サイクルトレインの実用化に向けた検討を進める。（釧路総合振興局）	JR釧網本線維持活性化沿線協議会や各自治体などの関係機関等と連携し、管内のATコンテンツを活用したサイクルトレインの実証運行を実施。（釧路総合振興局）	110 （釧路総合振興局）

○ シェアサイクルの利用拡大による自転車利活用の促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	自転車活用等促進事業[総合政策部（地域政策課）]	都市部や観光地で進むシェアサイクルの取組を地域間で展開し、より多くの地域における活用の促進を図る。	スポーツサイクルフェスティバル2026及び赤れんが庁舎前庭でのe-bike等試乗体験イベントにおいて、シェアサイクルの利便性や有効性を周知するPR活動を実施。	7,056
	自転車活用等促進事業[総合政策部（地域政策課）]	公共交通や観光資源と連携させた利便性の高いシェアサイクルネットワークを構築。	スポーツサイクルフェスティバル2026及び赤れんが庁舎前庭でのe-bike等試乗体験イベントにおいて、シェアサイクルの利便性や有効性を周知するPR活動を実施。	7,056
	自転車活用等促進事業[総合政策部（地域政策課）]	シェアサイクル利用者に対し、安全利用に関する周知を徹底し、安心して利用できる体制を整備。	シェアサイクル事業者と連携し、スポーツサイクルフェスティバル2026及び赤れんが庁舎前庭でのe-bike等試乗体験イベントにおいてリーフレットを配布し、交通ルール、交通マナーを周知する活動を実施	7,056
	地域政策推進事業[総合政策部（地域政策課）]	安全な自転車の利用や日常利用としての利用に着目し、自転車利活用推進の取組を進める。（宗谷総合振興局）	既存のサイクル動画を活用し、リーフレットの発行などを実施する予定。（宗谷総合振興局）	110（宗谷総合振興局）
	地域政策推進事業[総合政策部（地域政策課）]	オロロンライン・サイクルルートモデル走行事業 オロロンライン・サイクルルート上に、手軽に利用できるサイクルコースを設定し、一般参加者による走行会を開催する。（留萌振興局）	オロロンライン・サイクルルート（増毛町～天塩町　約130km）の一部に初心者用（約40km）、中級者用コース（約80km）を設定し、一般参加者による検証走行会を実施、利用者視点によるコースの検証を行う。（留萌振興局）	3,300（留萌振興局）

○ 災害時の自転車活用に向けた啓発

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	防災訓練費[総務部（危機対策課）] 自転車活用等促進事業[総合政策部（地域政策課）]	災害時における自転車の有効性（小口物資輸送、情報伝達など）を広く周知。	北海道防災総合訓練において、災害対応型電動自転車等の展示や試乗会を実施し、災害時における移動、情報収集・伝達、小口物資輸送等の手段や非常用電源としての活用など、災害時における自転車の有効性について周知する。（総務部・総合政策部）	5,957（総務部） 7,056（総合政策部）

○ 市町村自転車活用推進計画策定の促進

年度	事業等	概　　要	事業（予定）	予算額（千円）
R8	自転車活用等促進事業[総合政策部（地域政策課）]	各市町村における自転車活用推進計画の策定を促進し、道全体としての一体的な推進を図る。	・市町村への策定状況、策定予定時期の把握 ・市町村への情報提供の実施	7,056
	自転車活用等促進事業[総合政策部（地域政策課）]	災害時における自転車の活用を位置づけた自転車活用推進計画の策定の促進。	・市町村への策定状況、策定予定時期の把握 ・市町村への情報提供の実施	7,056